

第 2 期中期計画 成果指標

第 3 1 (1) 質の高い体系的な教育課程の編成

オフキャンパスでの教育活動数（平成 29 年度）

（教養科目）

- ・文化財学、建築環境論の授業内で尾道旧市街地や尾道迎賓館等を訪れ、尾道市重要文化財や様々な歴史遺産、再生民家を巡り、文化財の活用や歴史的建造物の維持、活用について研修を行っている。

（経済情報学部）

- ・公開ゼミ発表会：学生がしまなみ交流館にて研究成果を市民に向けて発表する。
- ・街中ゼミ：小川研究室の学生が尾道商工会議所で研究成果の発表および市民と学生、教員のディスカッションの場として開催している。
- ・「尾道しまなみ新聞」の記事の作成・編集：高間研究室の学生が「尾道しまなみ新聞」（発行団体：吉和新聞）にて記事を作成、編集している。

（日本文学科）

- ・尾道文学三昧：研究成果の発表を体験させるため、学会大会「おのみち文学三昧」を開催し、原則として学生に全員参加させている。
- ・新入生対象の文学散歩や「フィールドワーク」の授業を設置し、調査・分析考察・発表の方法を学ばせている。

（美術学科）

- ・地域活性化企画：デザイン実習Ⅱの授業内で、尾道の活性化企画を制作し、しまなみ交流館にて発表する。
- ・古美術研究：コース別で大阪、京都、奈良、また台湾を訪問し、実地視察、研究を行う。

第 3 2 (2) 研究の実施体制、第 6 (1) 外部資金等の獲得

科研費申請率 57% 申請件数 29 件（平成 29 年度）

第 3 3 (3) キャリア形成の支援

地域内のインターンシップ参加者数（平成 29 年度）

参加者数全体 76 人 内備後地方 47 人 広島県内 55 人 ※暫定

第 4 1 (1) 地域社会との連携・協働

公開講座開催回数（平成 28 年度） 46 回 参加者数 1,646 人

第 4 2 (1) グローバル化の推進

受入留学生数 31 人（平成 29 年 5 月 1 日）

短期語学研修参加者数 29 人（平成 29 年度）

長期語学研修参加者数 1 人（平成 29 年度）

第 6 (1) 外部資金等の獲得

受託研究数 14 件（平成 28 年度）

第 8 (2) リスクマネジメントの強化及び法令遵守

研修内容（平成 29 年度）

- ・特別講演会「IT 視点でみる金融の世界」：外部講師を招き、技術の進展が金融の世界にどんな変化をもたらしているのか、インターネットにつながっている生活の変化や安全性について講演を行った。
- ・海外留学危機管理セミナー：留学生の増加に伴う「危機管理ガイドライン」の解説や大学に求められている責任、留学以外に関しての大学を取り巻くリスクや他の大学の準備状況についても研修を行った。